

# 破碎薬ガンサイザー-破碎装薬作業手順



装てんする孔に込め棒を差し込み、削孔長及び孔内の状況を確認する。  
破碎薬ガンサイザーを着火具側を下にして装てんする。脚線はキンクしないようにしっかりと伸ばす。  
ステミング用の砂タンパーの袋をバラして入れる。  
込め棒を差し込み、手で2~3回、突き固める。

右下隅の複数の削孔跡は、鉄筋に当り予定の孔長を削孔出来なかった孔



砂袋の側面に爪でキズを入れて孔内に装てんする。  
ヘッド付込め棒のヘッド部をセットハンマーで叩く。この時込め棒は、固定せずに1回叩く毎に少し回転させる。  
ステミングは、孔口までしっかりと繰り返す。  
ステミングが終わると、各孔から出ている脚線の赤白を直列に結線する。



結線時には、素手で行う、軍手をつけた状態で行うと、脚線の間にも毛玉が入り、絶縁状態になることがある。  
脚線を揃えてループにし、しっかりとヨジル。  
結線した箇所は、全てプロタイト(絶縁用グリスキャップ)で絶縁する。  
脚線は、長い部分をまとめ結線順序が目視できるように整然と直列で行う。



結線が終了すると、光電池式導通試験器で回路の導通を確認後、防護用のマットを被せる。  
マットは、縦横に重ねる。  
防護シートを被せ、その上に土のうを置いて重石とする。防護が終わると、回路テスターで断線の有無と抵抗値を確認し、安全を確認して点火する。  
点火が終了したら防爆シート及びマットをはがして破碎状況を確認する。